

2021年度水俣学講義

まとめ

「水俣病と水俣学の将来展望」

水俣学のめざすもの

2022年1月20日

花田昌宣

今日の話

- まず事実から出発しよう
- なぜ犠牲者が非難されるのか
- 福島での差別と水俣病差別：障害者の視点から：水俣病における妊娠規制
- 水俣学とは何か
- 水俣学の課題

あらためてお伝えしたいこと

水俣学とは、人類の経験した公害，水俣病の負の遺産（失敗の経験）に学び，将来に活かす学問

- ▶ 水俣病の60年の歴史を学び，今なお残されている課題を理解すること
- ▶ 水俣病という公害が，学校の中で習った過去の問題ではなく，いまなお終わっていないこと
- ▶ ひとりひとりの暮らしのあり方を考え直すきっかけを得ること

水俣学とは：壁を越える学問

- 専門家と素人の壁を越える学問
 - 専門家の愚かさに気がつきましょう。「素人」ととは？
 - 大工は家作りの専門家、法律では素人
 - 学者・研究者は何の専門家？
- 専門分野の壁を越える学問
 - 学際的な調査研究と教育
- 国境の壁を越える学問
 - 国際的な学術交流、共同研究、共同の企画
 - 国境の外から見えてくること
- 他にもいろいろな壁がありそうです
 - 世代間の壁
 - 地域の壁
 - 様々な立場の壁（公務員だから、会社員だから・・・）

水俣学とは何か

様々の立場の様々な分野の 人々を迎えました

- 大学の研究者：田尻雅美、井上ゆかり、中地重晴、磯谷明德、田中優子、花田昌宣
- 水俣病患者：永本賢二
- 支援者：柳田耕一（熊本）、藤井絢子（滋賀）、阿部美紀子（宮城、女川）
- 芸術分野：映画上映、「ミナマタ」
- 医師：斎藤恒（新潟・木戸病院）
- 法曹家：小野田学（弁護士・大阪）
- ジャーナリスト：石貫謹也（熊日）

水俣学の出発点： まず事実からはじめよう



百間排水口（1970s）ここから工場の廃水が無処理で排出され汚染が拡大した
排水口はここだけではありません。（丸島にも八幡にもあります。しかし訪問するのはここ）

- そのときの海は
- 百間排水口の水銀へドロ



そして今、

現在の百間排水口：きれいになったのか隠されたのか



何が裁かれ、何が課題として残るか

- 水俣病の刑事裁判有罪判決
 - チッソの元社長・元工場長が有罪に
 - 胎児への障害が問われ業務上過失致死傷罪
- 障害を持っているから金銭賠償？
- 被害としての障害 水俣から福島へ
- [本当の課題] 生きやすい地域の構築。障害は社会が生み出すもの⇒ICFの基本的考え方

胎児傷害による死に刑事罰

水俣病

チッソ社長ら有罪確定

「過失致死が成立」

最高裁 初判断 時効、死亡時から

母体の一部と認定



水俣病による胎児傷害による死に刑事罰を科す最高裁の初判断が、時効、死亡時から成立する。最高裁は、胎児が母体の一部と認定され、過失致死が成立すると判断した。この判決は、胎児の権利を保護し、被害者の救済を図る上で重要な意義を持つ。最高裁は、胎児が母体の一部と認定されることで、母体の一部としての権利を享有し、過失致死の罪に問われることができる。この判決は、胎児の権利を保護し、被害者の救済を図る上で重要な意義を持つ。

最高裁は、胎児が母体の一部と認定され、過失致死が成立すると判断した。この判決は、胎児の権利を保護し、被害者の救済を図る上で重要な意義を持つ。最高裁は、胎児が母体の一部と認定されることで、母体の一部としての権利を享有し、過失致死の罪に問われることができる。この判決は、胎児の権利を保護し、被害者の救済を図る上で重要な意義を持つ。

- 会社チッソは、民事責任（賠償責任）と同時に刑事責任も問われた。
- このことの意味は大きい。

映画Minamata、ジョニーデップ主演



ハリウッド映画の「ミナマタ」をどうみるか

- (1) 水俣病が劇場映画で取り上げられたことはあったか
- (2) これはドラマであってノンフィクションではない。史実と異なっているのは当然
- (3) 水俣病事件の主演は「水俣病患者」だということ、それを劇場映画に取り上げることのできるハリウッドとはなにか
- (4) 日本ではなぜできなかったのか
- (5) 水俣病を引き起こした責任は？

水俣学とは何か

あらためて、専門家と素人の協同の可能性

(1)それぞれが「専門家」で、かつそれぞれが「素人」

水俣病の問題は多様な側面をもっている

(2)研究者の知と現場の人の知の融合

大学の研究者が玄人という訳ではない

水俣学の方法論

(2) 学際的であるということ

- 公害病は、医学の課題にしてはならない
- 公害を法的紛争だけに限局してはならない
- 様々な学問分野の融合が必要だ
 - 医学（斎藤恒：医師）
 - 法学（弁護士：小野田）
 - 自然科学（中地）
 - 社会科学（田中優子：日本近代文化史）（花田：社会政策学、磯谷：経済学）
 - 社会福祉学（田尻、井上）

多様な学問の学際研究

【検証課題】

- 多様な学問分野の「学者」たちの共同研究なのか、
- 一人ひとりが、「学際的」になることなのか
- 研究者の「専門」へのこだわりの限界：そこからは見えてこない

【水俣学がしてきたこと】

- 多分野の研究者による研究チーム
- 共著書の刊行『水俣からのレイトレッシン』（水俣学ブックレット）、『水俣学研究序説』（藤原書店）

【水俣学の教育】

- 水俣学講義『水俣学講義』〈日本評論社、第1～第5集〉

水俣学の方法論

(3) 現場に学び、現場に返す

- 現地に立つということ／現地に学ぶということ
 - － 福祉環境学入門・福祉環境学特講 水俣研修
 - － 大学院フィールドワーク
 - － 水俣だけではありません。現場に立たないと物事は見えてきません。
- 現地に返すということ
 - － 調査のやりっ放し、専門的報告書で終らない→収奪型調査の拒否
 - － 成果の報告：市民講座や地域での報告会
 - － 現場の課題に関わっていくこと

水俣学の方法論

(4) 国内外への発信：世界に開かれた学問

- 世界にひらかれていること
- 海外調査と研究交流

【検証課題】

- 先進国日本の公害病：教訓とは？伝わるのか？
- 何を発信するのか
- 誰とつながるのか

国内外への発信：世界に開かれた学問

【水俣学がしてきたこと】

- 国際フォーラム：水俣病の経験はいかされたか：第一回 2006年9月、第二回 2013年9月（熊本と水俣） 第3回：2019年2月
- 世界の課題の調査（継続的調査中）
 - － カナダ水俣病の調査
 - － タイ・ミャンマーの公害の現地調査
 - － 中国の環境汚染の現地調査
 - － 韓国の環境問題
 - － 台湾のダイオキシン汚染
- 【水俣学の教育】大学院FW：韓国研修、タイ、台湾

水俣の教訓を各地に

- 福島・東北の被災調査と交流
- 三池CO被害者との交流・研究
- 苓北火電と天草環境会議
- 沖縄基地被害
- 様々な公害被害発生地域の現地調査・共同調査（土呂久鉍毒事件など）

熊本学園大学 水俣学研究センター

ナンバーワンじゃないかもしれないけど
オンリーワン！さらに第二第三の水俣学を！！



水俣学現地研究センター(水俣市)

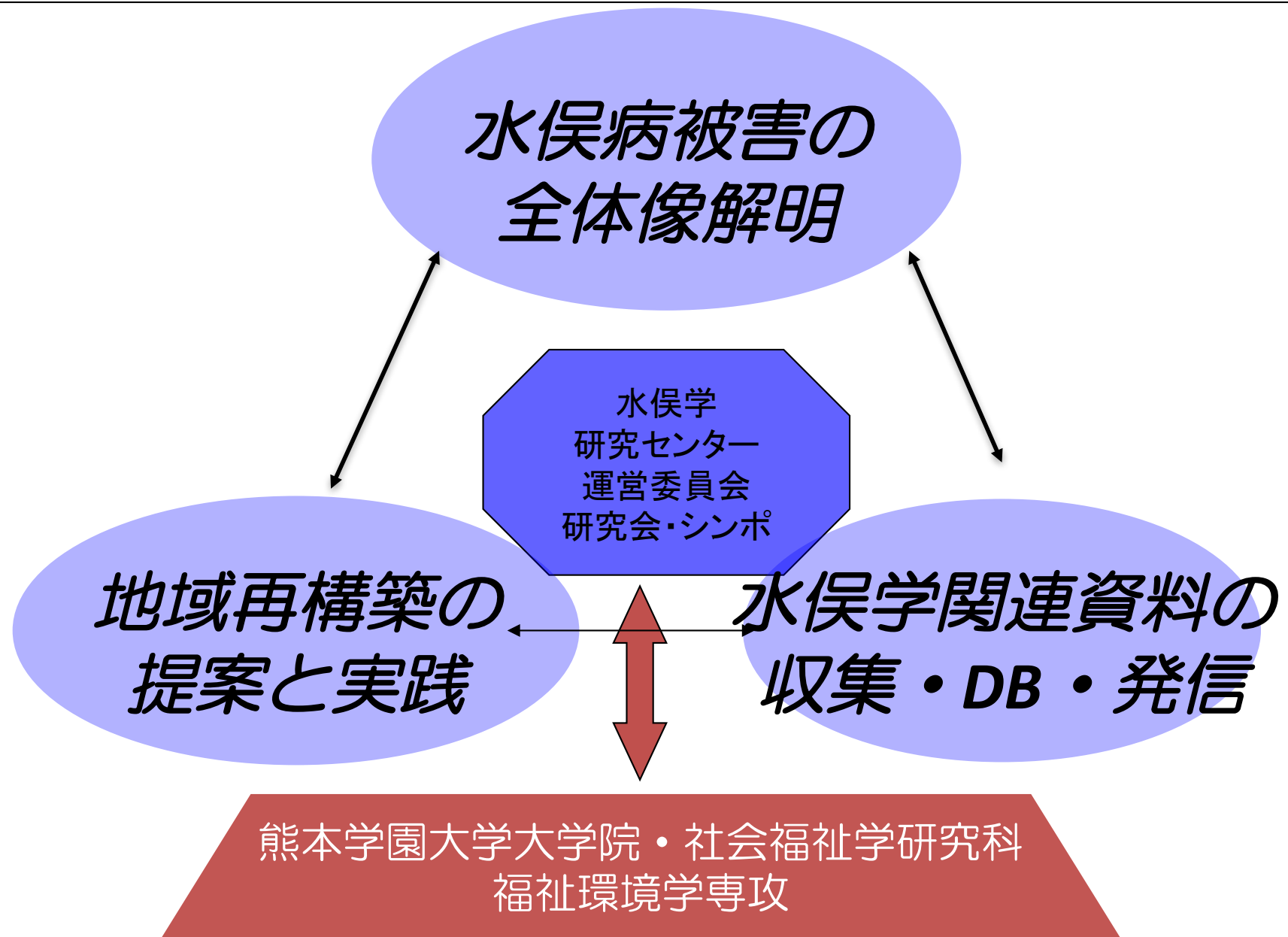


90 km
(新幹線で25分)



水俣学研究センター(熊本学園大学)

水俣学研究センターとは



水俣学の課題 その1

- 水俣病は終わっていない
- 事実の解明：被害総体も分かっていない
- 反省と教訓：「教訓」とは終わった事件について語ること→失敗の連鎖
- 社会的な応答可能性：次の世代に伝えることと、今の課題に応えること

水俣学の課題 その2

- 学としての水俣学の課題
 - 現実からの要請 誰のための学問か
 - 被害者・患者、地域住民に役立つ学問
 - 学問の中立性・科学性とはなにか
 - 公害事件に第三者はいるのだろうか
- 一人一人の水俣学
- 将来の人生の中で活かそう
- 研究を進めよう→ 大学院で深める

Thank you very much!
Merci beaucoup!
Danke!

谢谢
감사합니다

ขอบคุณ

ありがとうございました



いのちの選別

- 生まれるすべてのいのちと共に生きること
- いのちの選別は、今、生き、暮らしている障害者を否定することにつながること
- 障害者として生まれることが「不幸」なのか
- 放射線被爆による健康障害の回避と「奇形」や障害に対する恐怖は別の話
- コロナ感染といのちの選別：限られた資源（ワクチン）をどのように配分するか。前提条件を抜きにした議論は、危険だし、排除と分断を生み出す← 授業で説明します。

障害と水俣病

- 公害が生み出した障害としての水俣病
公害が起きると障害者が生まれる
– 否定される存在としての公害病患者
- 水俣の経験 ⇒
新潟水俣病の出産規制 胎児性水俣病は一人だった
- 犠牲者が非難される
汚染されていると分かっているのに食べた

新潟における妊娠規制（1965年） 熊本 での胎児性水俣病の経験を繰り返さない

新潟県衛生部の指導：妊娠中の者で、毛髪水銀値の高いものには中絶指導

保健所：妊娠可能性のある女性に対して受胎調節指導

その結果、新潟では、胎児性水俣病の症例は公式的には1名のみ

胎児性患者が出なかったのは 「成功」 例か？

- 障害を持った子どもは産まれないほうが良いのか：障害を持った子どもの存在を否定することになる
- 障害を持った子どもが生きることの出来ない社会とは
- 優生思想の過ち：遺伝的に優れたも人を将来に残そうとする差別と選別の思想